

# The Principal Report

# 校長通信（5月号）

MAY / 1ST / 2026 / VOL 046

## 「GO BEYOND 想像以上の自分になる」

新緑の5月。今年度がスタートして早くも1ヶ月。299名の新入生も、学校生活にだいぶ慣れてきた頃ではないかと思います。2・3年生も、優しく頼れる先輩として、リーダーシップを発揮してくれています。授業、学校行事、部活動、委員会活動など、さまざまな場面でみなさんの才能や得意を発揮しながら、自己の成長につなげてもらいたいと思います。

さて、改めて御殿場西高校のスクールモットー「GO BEYOND 想像以上の自分になる」について考えてみたいと思います。人の頭の中には誰も「枠」というものができ上がっていきます。これは、これまでの人生の歩みの中で経験した失敗や挫折といったものが、自分の限界や到達地点を勝手に決めてしまうために、思考の枠として形成されていくものです。自分の力は「このくらい」、自分の生きる世界は「このくらい」、自分の将来は「このくらい」というように。あるいは、「どうせ無理」「自分にはできない」という決めつけが起こってしまい、チャレンジへの機会すらなくしてしまいます。これは生徒である皆さんも、私たち大人も共通して抱える課題なのだと思います。

しかし、自分の幼い頃を思い返してみると、「このくらい」とか「どうせ無理」なんて思わなかったはずですよ。どんな小さなことにもワクワクしながら、前のめりに生きていたはず。積み木を重ねることができた時、虫を捕まえられた時、自転車に一人で乗れた時、逆上がりができる時、最後まで走り切れた時。何度も何度も失敗しながら、少しずつできるようになっていき、いつの間にか壁を超えていたことたくさんありましたよね。こうした小さな成功を積み重ねながら僕らは成長を続けてきたはずなんです。

あるいは、こんな例もあります。「進路だより」の巻頭言でも書かせていただきましたが、ノミ（蚤）という虫がいます。主に犬や猫に寄生し、人も吸血する害虫とされています。そういった害を与える存在ではありますが、一方で自分の体長の200倍の距離をジャンプすることができるスーパーアスリートな一面もあります。人間に換算すると、幅跳びで300メートル以上の跳躍となり、驚異的な身体能力といえます。そんなノミをしばらくの間、瓶の中に入れておく実験を行いました。いつものように大ジャンプをしても、瓶の蓋に頭をぶつけてしまい、外に出ることができません。その後、瓶の蓋を開けて、自由にジャンプできる状態となりましたが、ここで不思議なことが起こりました。ノミはもう以前のような大ジャンプをすることがなくなったそうです。瓶の中にいた時にした痛みや経験により、もうその高さ以上のジャンプをしなくなってしまうのです。自分にその能力があるのにも関わらずです。

要するに、自分の頭の中の枠を取り払い、とにかくまずはやってみることです。自分には無理だと思っていたことが、実は得意なことだったりもします。自分には関係ないと思うようなことも、やってみたらハマってしまうことだってあります。そして、踏み出した先には、新たな学び、経験、出会いが待っており、新たな世界の捉え方、見え方、価値観へと繋がっていきます。そうした自分の中での変化こそが、本当の意味での成長ということなのだと思います。逆を言えば、私たちは踏み出していけない限り、こうした成長にはたどり着けないということです。本校の卒業生を見ていると本当にそう思うのです。「化けた!」「殻を破った!」と感じさせてくれた生徒はたくさんいましたが、共通していたのはどんなことに対しても積極的で、とりあえずやってみる素直さを持っていたことです。

御殿場西高校のスクールモットー「GO BEYOND 想像以上の自分になる」を实践するうえで欠かせないのは、この「やってみること」「枠から踏み出すこと」です。成功するか、うまくいくかどうかではなく、踏み出した先に、どんなことが待っているのかわかりません。ただ一つ確かなことは、踏み出した先には新たな自分がいるということです。御殿場西高校を卒業するときに、想像以上の自分、なりたい自分以上の自分になっていることを心から期待しています。この1年間、とにかくやってみましょう!

# Happy 30th Anniversary to Kardinia International College !!

オーストラリアにある御殿場西高校の系列校Kardinia International College (KIC) が、30周年を迎えました。30年前、本校を創設した勝間田芳磨先生が、ビクトリア州にあるジロング市という小さな港町に新たに学校をつくりました。創立当初は生徒数は約70名。小さなスタートでしたが、少しずつ地元での評価を高めていき、今では幼稚園から高校までの一貫教育を行う2000名以上の生徒が溢れる学校へと成長しました。御殿場西高校との交流は創立以来ずっと続けており、交換留学制度、ホームステイプログラム、スタディツアーなどを実施してきました。近年では、コロナ禍を契機として、オンラインでの交流であるGoKICを定期的に行うなど、新たな交流の形も作っています。日本のどこの学校を探しても、これほど海外との強い結びつきがある高校はなかなかありません。御殿場西高校とKICは30年間ともにありつづけ、北半球と南半球という果てしない距離で隔たれながらも、とても強く温かい絆を育んできました。私は、副校長に就任して以降、絶対にやらなくてはならないと感じていたのは、この絆をさらに強く確かなものとする事、本校とKICの両校の先生や生徒たちが、お互いを近くに感じられるようになることです。絆はこれからの未来へと続きます。



## KIC副理事長のベスさんが来校

4月17日(金) 御殿場西高校にKardinia International Collegeの理事であるベスさんがやってきました。ベスさんはオーストラリアで約20年間校長をされ、現在ではさまざまな団体で理事等を務める方です。日本が大好きで、日本食や日本文化にとっても興味があるのだそう。午後には2年β組の英語授業に参加していただき、生徒のみんなと一緒に英語で交流したり、ワードゲームをしながら盛り上がりました。最後には生徒たちからお礼のお手紙が渡され、ベスさんもとても喜んでくれていました。



## Let's go, Gonishi !!

運動部のみなさんは3年間の集大成となるインターハイ予選がスタートしています。4月9日にはインターハイ壮行会が催され、全校生徒たちによる激励が行われました。勝つか負けるかの結果というよりも、最後の最後までやり切る、本気で頑張る仲間を本気で応援するということが、御殿場西高校の部活動が最も大切にしていることです。自分がいつかさらに大人になったとき、自分が一番輝いていた瞬間だったと思えるような、最高の舞台にしてもらいたいと思います。がんばれ、みんな!



## 保護者の皆様へ

令和8年度がスタートしました。今年度も本校の建学の精神、教育方針に基づき、授業、探究活動、生徒会活動、学校行事、部活動などさまざまな活動を行ってまいりたいと思います。何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。慌ただしい1ヶ月でしたが、少しずつ生徒たちも新しい学校生活にも慣れてきていると感じます。5月には仰高祭(体育の部)がありますので、ぜひご参加ください!

<5月の主な行事>

5月8日(金) 保護者会・後援会総会(午前:授業参観)

5月19日(火) 献血

5月23日(土) 第1回英語検定

5月27日(水) 仰高祭(体育の部)

2026						MAY	
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							